



新規事業の開発を支援するとともに、 今後に向けたビジネスマッチングを支援

企業名	株式会社つなぐファーム
代表者	代表取締役 萩原 領
本社所在地	千葉県千葉市緑区大木戸町
創業年	2018年2月
従業員数	3人（2025年9月現在）
HP	https://www.tsunagufarm.com/



<ビジョン・事業概要>

- 「地域を次世代につなぐ」
- スマート農業、営農型太陽光発電における農業サポート、体験農園、農業イベントの企画運営（視察等）

<事業フェーズ・目指している状態>

- 会社として目指すべき方向性をミッション・ビジョン・バリュー（MVV）や成長戦略として整理したうえで、既存事業を活かしつつ、次世代の農業を担う人材の開発に寄与するような新規事業の開発を目指す。
- そのうえで、自社農園への視察受入などの既存の取り組みをMVVに沿った収益性の高い研修型ビジネスへ昇華するとともに、農村のスマートインフラ実現に向けたリレーションの構築を目指す。

相談内容・抱えていた課題

C-CAPによる支援ポイント

成果

<持続可能な成長戦略のブラッシュアップ>

- ◆ MVVを中心として、会社として目指すべき方向性に対する経営陣の理解と納得を深めたい。
- MVVとの対応関係を可視化したうえで、体験農園ビジネスの位置づけを整理した。
- ✓ 会社として目指すべき方向性、そのために取るべき戦略の概要をエグゼクティブサマリにて可視化できた。

<新規事業開発>

- ◆ 既存の取り組みを収益性の高い新規事業に昇華したい。
- リーンキャンバスを用いて優先すべき顧客層と課題の仮説を整理した。
- 仮説検証のためのアンケート準備を支援するとともに、研修コンテンツ設計のポイントに関するノウハウを提供した。
- ✓ 初期的にアプローチすべき顧客層や解決すべき課題のほか、競合優位性の整理を行うことを通じて、「体験型フィールドワーク研修」としてビジネスモデル仮説を立案することができた。

<今後の事業展開に向けたリレーション構築>

- ◆ DXによる農村のスマートインフラを実現するためのリレーションを構築したい。
- 農村のスマートインフラ実現に取り組む他事業者とのマッチング機会を提供した。
- ✓ 事業提携候補となる企業と実証実験に向けた足掛かりを構築できた。

【採択企業様の声】

これまで取り組んできた事業を、今後どのように収益性のある新規事業へ発展させていくかについて、解像度を高めることができました。MVVに立ち返りながら事業の位置づけを整理できたことに加え、実証や連携に向けた具体的な一歩につながる支援をいただけたと感じています。